

ふれあい情報

2018年3月15日(木) 第277号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

告示

日本退職者連合規約第26条により、以下の通り第22回定期総会を開催する。

記

1. とき 7月12日(木) 9:30~
2. ところ 連合会館2階 大会議室

(註) 代議員の割り当て等詳細は、退職者連合規約に基づき、おつてご連絡いたします。

2018年3月15日
日本退職者連合

第4回幹事会

退職者連合は3月14日(水)午後1時30分から連合本部8階会議室で第4回幹事会を開き、退職者連合規約26条に基づき、別掲の通り第22回定期総会の開催と日程を決めました。また2018年度の運動方針、政策・制度要求(年度要求)、低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求についての各素案も確認しました。あわせて5月7日(月)を締切り日として素案を構成組織での検討に付すこととしました。

第22回定期総会の開催日時・場所決まる

2018年度運動方針(素案)、政策・制度要求(素案)、低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求(素案)を確認

なお意見聴取を締め切った5月7日以降の取り扱いについては、意見の内容を各専門委員会で精査するなどして、6月13日開催の第6回幹事会で総会「原案」にまとめます。その後、7月開催の第22回定期総会にそれぞれ議案として提案することになります。詳しくは、退職者連合のホームページをご覧ください。

原案は6月の第6回幹事会で決定

幹事会では、総会議案の策定で二つの特徴的なことがありました。一つは、取り扱いました。さらに幹事会では、各専門委員長が提案しました。これを「素案」の改善です。規約改正で各専門委員会の役割が強化されたことにより、政策委員会、男、女平等参画推進委員会が事前

に開かれ、内容を策定しました。これまで3段階で開く幹事会での検討内容を「原案」として位置づけたこととす。ねらいは、地方退職者連合に加えて産別・関連退職者連合さらに幹事会役員も含めて退職者連合全体で「素案」を検討してもらうためです。「原案」だとその日の幹事会の中で「提案」と「決定」が行なわれることになり、提案側となる役員は、これまで実質的に内容を検討する余裕がほとんどありませんでした。この点の改善をはかりました。



▲幹事会の冒頭、立ってあいさつする人見一夫会長。(3月14日、連合本部8階三役会議室)

大衆討議を重ね、議案内容深めていく

男女平等参画推進のための第7回学習会

写真右は、講演で熱く語る竹信三恵子氏。写真下は、会場を一杯に埋めた参加者。(3月2日)



高齢女性の労働運動が必要

和光大学現代人間学部教授でジャーナリストの竹信三恵子氏が、低所得高齢単身女性問題について退職者連合が主催した男女平等参画推進のための第7回学習会で講演。「高齢女性の貧困一家事ハラ社会と私たち」と題して貧困高齢女性を生む要因を明らかにするとともに、「増え続ける『働く高齢女性の労働運動を』と提起し、低所得高齢単身女性問題に取り組み退職者連合の運動に新たな一石を投じました。



竹田邦明委員長

3月2日(金)午後1時30分から連合本部で開かれた第7回学習会には、産別・関連退職者連合や地方退職者連合の男女会員約134人が参加しました。

学習会の冒頭、主催した退職者連合・男女平等参画推進委員会の竹田邦明委員長が「それぞれが課題を持つて考えていく機会になってほしい」とねらいについて述べました。

また連帯あいさつした井上久美枝連合総合男女・雇用平等局長は「退職者連合のみなさんの熱意をひしひしと感じる。現役も負けてはいられない」と決意を表明し、続けて「昨年、退職者連合と意見交換の場を持った。現役で働いている時の条件が60歳以降の生活につながっている」と述べ、低所得高齢単身女性問題に取り組みには、現



井上久美枝総合局長

退連携が重要との考えを強調しました。

深刻化する高齢女性の貧困問題

講演では約90分にわたって高齢女性の貧困についてデータを思い、熱い思いを語った竹信氏は、高齢女性の貧困を生む要因について①現役時代の低賃金②結婚や出産で働き続けられない③夫の死別や離別の3つをあげ、ほぼどの年代も女性の貧困率が高く、単身女性の3人に1人が貧困。「男女雇用機会均等法は女性の低所得を解決しなかった」と問題の歴史的な深刻さを明らかにしました。さらに働く高齢女性が増えている現状を踏まえ、高齢女性の労働運動の必要性を指摘しました。

男女平等参画推進のための地方退職者連合交流会を開く

学習会終了後、同じ会場で午後4時から男女平等参画を地域で推進している地方退職者連合が中心となって約30人が集まり、交流会を持ちました(写真右)。

参加したのは、北海道、群馬、栃木、茨城、千葉、神奈川、

石川、大阪、兵庫、長崎の退職者連合です。男女平等参画推進委員会の委員も参加しました。

意見交換では、「社会貢献活動などで女性の参加の場を増やしたい」(石川)「意志決定の場に女性の参加を」(大阪・北海道)などの意見がありました。

